

平成24年12月2日。  
茨城県武道館で秋季関東大会が開催されました。

横浜北支部から18名が出場し、下記の7人が入賞しました。

幼年混合の部

第3位

渡辺民生



デビュー戦の横浜カップでいきなり優勝を果たした渡辺選手が関東でもいきなりの入賞。幼年とは思えないアグレッシブさに緻密なコンビネーションを併せ持つ。準決勝は僅差の判定で敗退したが、今後更にレベルアップする潜在能力を感じさせた。来年の国際大会、全国大会に期待がかかる。

小学2年生男子の部

準優勝

小嶋良羽将



昨年準優勝だった小嶋選手が今大会も手堅く決勝に進出。決勝では技有りを奪われて無念の敗退、成績は昨年と同じだったが、中身はまったくの別人。緒戦から確実にダメージを与える組手スタイルは昨年より確実に進歩していた。来年は間違いなく全国大会、国際大会の優勝争いに絡んでくるだろう。

小学4年生男子+30Kg級の部

優勝

## 多久田和馬



8月の全国大会で頂点に立った多久田選手が、磐石の関東大会制覇。  
秋季関東大会での優勝は4年連続。圧倒的な攻撃力とスタミナで絶対王者の実力を見せつけた。  
多久田選手にとって最大のライバルは自分自身。だが求道者の如く激しい稽古を続ける彼に慢心はありえない。  
来年は全国大会、国際大会での優勝を目指す。

## 小学5年男子 + 40kg級の部

準優勝

菅和志



今大会、菅選手にとって決勝までの道のりは熾烈を極めた。  
体重判定でも勝敗がつかず、再延長までもつれた試合が2試合。横浜カップの決勝で敗れた相手との再戦。  
楽な試合は一つもなかったが、決して気持ちが折れることなく決勝へ駒を進めた。  
決勝では今年の国際大会王者と延長戦で判定負けを喫したが、今大会での経験は菅選手の実力を更に引き伸ばしたに違いない。

## 小学女子高学年 + 40kg級の部

第3位

知念琉花



小学5年生、6年生の混合トーナメントにおいて、5年生では知念選手が唯一の入賞。  
表彰式では周りの選手に比べて知念選手は一回り小さかったが、勝つことしか考えていなかった彼女は3位に入賞した喜びなどまったく無かった。  
この知念選手最大の武器である気の強さで、6年生になる来年は暴れまわるに違いない。

中学2,3年生男子 + 55kg級の部  
準優勝  
菅優作



午前の部で、弟である和志の試合を見た菅選手は、気合全開で決勝まで駆け上った。  
特に2回戦、約40kg以上重い相手との試合は圧巻。  
真っ向勝負で延長戦まで戦い抜き、勝利をもぎ取った。  
決勝では体重判定で敗退するも、80kgを超える身体では考えられないスピードとスタミナを見せた。  
その実力は間違いなく全国のトップレベルに達しているだろう。

高校生男子 \* 65kg級の部  
第3位  
日比野英翔



神奈川の大会では何度も入賞経験のある日比野選手が関東大会初入賞。  
派手さはないが、確実に相手にダメージを与える堅実な組手で勝ち上がった。  
着実にレベルアップしている日比野選手は、来年の国際大会での入賞を目指す。

